



会報

47号

デザイン 池田満寿夫

ながめ

発行人 五十嵐立男

編集長 峯村清志

9月末現在賛助会員数 長野地区 533人、県全体 3,048人

長野地区賛助会員による世代間交流盛ん

賛助会だからできる…活動するグループや個人が持つ得意技やコミュニケーション能力、子育て経験、活動の場を活かし『世代を超えた』あったかい交流のひとつが催されました。

人生二毛作ブース:初参加！「夏休み子ども体験教室:県庁見学」

笑顔つないで（児童養護施設ボランティアグループ）

7月14日
長野県庁にて開催



幾つになっても居場所と出番がある「人生二毛作」を実践する、長野地区と北信地区賛助会員の皆さんが、私たちの活躍する姿を子どもや多くの県民の皆さんに見ていただきましょうと、今年度初めて健康増進課のブースとして参加しました。『手づくりのお手玉、割り箸鉄砲、ビー玉、おはじき、おりがみの飛行機、新聞を再利用した貼り絵、絵手紙体験』と、メンバーの経験と知恵が活かされた「昔遊び体験～おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に楽しもう！」ブースが出来上がり、笑顔あふれる体験コーナーとなりました。

花咲かせよう会（絵手紙グループ）



予想を上回る約100名の親子、祖父母の皆さんがブースを訪れ、「小学校の親子レクに来てもらえませんか」「高齢者が集まる場でもやってみたい」「退職後、暇を持て余している。何かしたくなかった。」と、かけられた声も励みになります。「子どもたちに遊んでもらっているんだよ」と教えてくれたリーダーの石井さん。「一緒に楽しめる時間（こころ）を持つ」「自分たちの活動を見せる」ことも社会参加活動が続ける秘訣なのでしょう。『シニア&子ども』の場が、地域社会の中でも求められていることを実感した一日。ますます皆さんの活躍から目が離せません。北信地区賛助会の学校支援ボランティアグループと一緒にブースを出し、お互いの活躍にエールを送りました。

(文責：斉藤むつみ)

長野赤十字看護学校生による「高齢者ふれあい体験授業」

看護師を目指す学生さんが、健康なシニア世代とのふれあい体験を通じて今後の看護に役立てることを目的に、賛助会2グループを訪問しました。夏休み明けには聞き取ったことをレポートにして学校へ提出。「歳を重ねても様々な価値観があり、尊重したかかわりを持ちたい」「小声で早口では聞き取れないと言われたので意識して関わらなければ」「元気なシニアが多く、趣味や仕事など積極的に参加し、家族や地域の方々、仲間との関係性が生きがいにも繋がっている」など、多くの気づきが報告されました。

38・オカリナ・ハーモニカクラブ



健康のヒケツを教えてください！

先生からもらうこの花まるがいくつになってもうれしいよねこれも活動を続けるヒケツかな。

スマイル・リフレ



皆さんのように元気で若々しくいるために必要なことは何ですか？



自分たちで「楽しい場」を作ること。いっしょに「楽しめる仲間」がいることです！

賛助会員として 個人活動

「できることを・できるときに・できるだけ」という気持ちで、個人として子どもの育ちを応援する賛助会員さんの活躍もありました、お二人を紹介します。

○立川 光臣さん（小学校に綿の苗を寄付）



秋にどんな実がなるかを楽しみに育ててください

○荒井 公さん（中学校で書道の指導）



上手に書けているよ～ココをもう少し…

賛助会「シニア大学フードドライブ」の紹介 グループ長 浅岡俊安

シニア大学卒業に当たり、賛助会に加入し、今後の生きがいと社会参加活動を求めて「フードドライブ活動グループ」を立ち上げました。わが国の「食品ロス」は、平成 26 年度で 621 万トンと推計されていますが、その反面、今日の食事にも困る「貧困」という現実があります。

食品ロスについては、国や市等の行政、各種福祉団体、ボランティア団体等が対応する活動を行うようになり、専門組織として「NPO 法人フードバンク信州」が平成 28 年に設立され、食品ロスに係る様々な問題に対する活動が社会的仕組みとして展開されることとなりました。

フードドライブは、その仕組みの一つとして、家庭から食品の提供により生活保護、貧困者自立支援に係り、「地域の支え合いネットワーク作り」という社会活動に発展することになりました。すなわち食品ロスと資源問題、貧困者・困窮者の自立、地域支援ネットワークという社会的仕組みへの展開を企図しているものです。

この活動は、食品の提供を受ける運動ですが、真の意図は、地域・社会への働きかけを通じてこの考え方が広く浸透し「支えあう地域をつくる」との機運が醸成されることであります。

シニア大学への働きかけを通じてその考え方があまねく反映し、活動の一助になることを期待して居ります。

10/20 賛助会員の集い 作品展・式典・ステージ発表

今年も長野地区賛助会員による集いが開催されます。昨年、推進員になって初めてこの集いに参加した時の感動は今でも忘れられません。この日のために、会員の皆さんがひたむきに取り組まれてきた姿は本当に素敵でした。

今年度は新規グループの皆さんも張り切っています。更なる盛り上がりを期待しています！！
当日の準備・運営等よろしくお願ひします。

○日時 平成 29 年 10 月 20 日（金） 10：00～15：30

○会場 長野県社会福祉総合センター （文責:宮澤栄子）

信州ねんりんピック 式典等・高齢者作品展

○会場 駒ヶ根総合文化センター（駒ヶ根市上穂栄町 2 3-1 0265-83-1130）

○日時 〈式典等〉平成 29 年 12 月 2 日（土） 10：00～15：30

〈作品展〉平成 29 年 12 月 1 日（金）～3 日（日）10：00～17：00

（最終日は 12：00 まで）

今年のねんりんピックの会場は駒ヶ根市です。開催地区の会員の皆さんは、知恵と力を出し合って南信ならではの“おもてなし”を思案中だとか……。寒い時期ですが、心がほっこりするおもてなしを頂きに上がりませんか？

恒例のバスツアーも企画しましたので、お仲間と一緒に出かけませんか。

バスツアーは定員になり次第、締め切りとなりますのでお早めにお申し込み下さい。

★問い合わせ:事務局 宮澤・野沢まで(026-228-7023)

「いきいき21」の「デイサービスセンター柳町」訪問記録

期 日：平成29年9月20日（水）

暑さ寒さも彼岸まで、今日はその彼岸の入りです。天気も良く一年中で一番過ごし易い時期です。今回の訪問先である「デイサービスセンター柳町」の利用者30名ほどの皆さんに迎えられて、私達のグループ「いきいき21」のメンバー7名でボランティアに参りました。この活動は施設側からすると高齢者週間の一環行事であります。

まず、オープニングは唱歌「赤トンボ」と「村祭り」の2曲を利用者の皆さんと合唱いたしました。利用者の皆さんは元気潑刺としており、多分平均的には既に米寿を越しているかと思いますが、後期高齢者の仲間入りした私より若く、中には車椅子利用の皆さんも混じっていましたが、顔色も良く元気に歌ってくれました。2番はゲームソング「幸せなら手をたたこう」で、利用者の皆さん午睡から目覚めたばかりの気分を爽やかにする役目もあります。最初は♪手をたたこう、次は♪肩たたこう、次は♪万歳しよう、最後の4番目は♪最初から、として「手をたたこう、肩たたこう、万歳しよう」を合わせて行います。利用者の皆さんの気分もほぐれ、大分和やかになってまいりました。3番は紙芝居「ねずみのよめいり」、この物語は、ねずみの親が娘ねずみを、世界で一番強いものに嫁がせようと考え、太陽をはじめとして、雲、風など順次問いかけるが、行き着く先はやっぱりねずみが一番強いと言われ、隣に住んでいるねずみの若者に嫁がせたというお話でした。

このごろは、未婚の若者が増えていますが、少子化対策として何とかしたいものです。



4番は荻原会員のハーモニカ演奏、懐かしのメロディー「山小屋の灯火」と「古城」の2曲です。皆さんも若き日を懐かしみ口ずさんでいました。5番は私の拙い手品の披露ですが、何となくハッ！とされたようです。6番は長田会員の三味線演奏、地元の民謡「善光寺参り」です。歌集を配りましたので多くの皆さんが歌ってくれました。三味線の音色は座を盛り上げてくれます。皆さん段々乗ってきました。7番は手踊り、テレビドラマで御馴染みの水戸黄門漫遊記の主題歌「あゝ人生に涙あり」です。最後の決まりは手作りの印籠を全員がパッと差し出し、皆さんの拍手をいただきました。8番は信濃の童歌「一茶さん」子ども達と一茶の掛合い唄です。殆どの皆さんが知っていましたが、初めて聞いたという方が一名いました。

9番は東福寺会員の語り部「ケチケチばあちゃん」です。日常ばあちゃんのケチに呆れていた孫が、実は余ったお金を貯金していることを知り、このお金の使い道に疑問を感じていました。最後は自分の大学進学に援助してくれ、ばあちゃんに感謝するお話でした。お年寄りの皆さん自分にも経験がある様子でした。10番は、活舌訓練唄「またかばら」です。舌が絡まって歌いづらいことと、言葉の運びにまごつくなど、頭と舌の訓練になります。エンディングは施設側からの要望で童謡「夕焼け小焼け」を合唱して終了となりました。

お別れには、皆さん力いっぱい手を振って見送ってくれました。こんな皆さんの姿に感動し、ボランティア活動を何時までも続けていきたいと決意したところです。（文責：丸山栄洋）